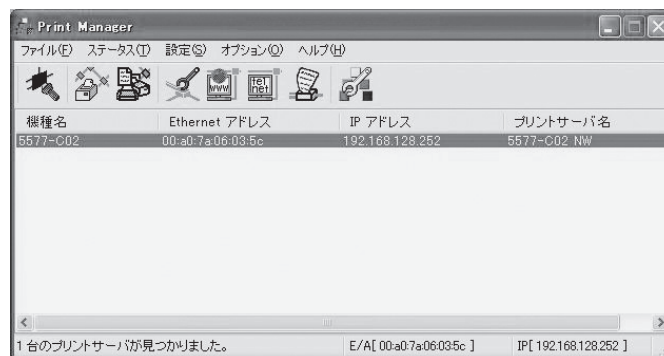
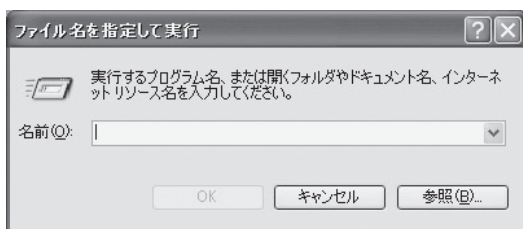
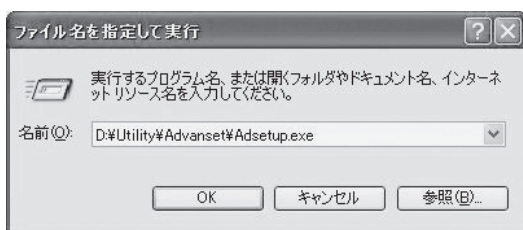
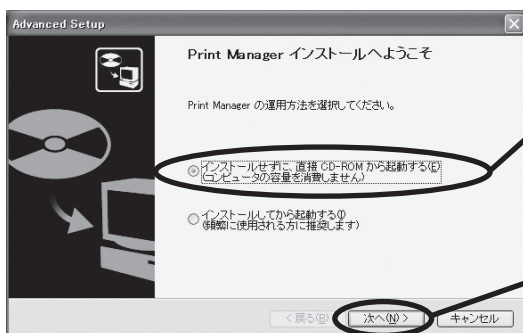
第6章　設定に関する機能

本章ではPrint Manager、Webブラウザ、TELNETを利用して、詳細な設定を行う方法について説明します。

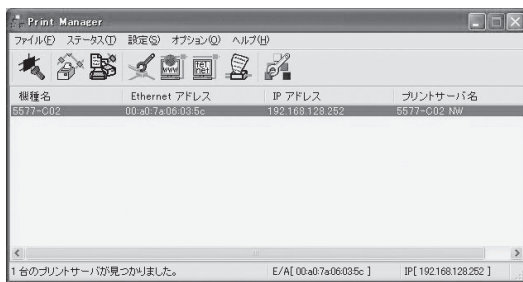
Print Managerで設定する

総合ユーティリティ「Print Manager」は、本製品の詳細な設定および設定内容の変更を行うことができます。また、リモートでの再起動やプリンター・ステータス・モニターなどの便利な機能を使用できます。

- Print Managerをご利用になる場合、パソコンにTCP/IPプロトコルまたはIPX/SPXプロトコルがインストールされている必要があります。
- 使用環境および機種によっては、「Print Manager」に表示される内容が異なります。
- Windows XP環境でTCP/IPプロトコルをご利用になる場合は、「ローカルエリア接続のプロパティ」－「詳細設定」－「インターネット接続ファイアウォール」のチェックを外してください。

Print Managerを起動する

1. 本製品付属のCD-ROMをパソコンにセットし、Windowsの「スタート」－「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

2. 「名前」のボックスにCD内にあるプログラム名（Adsetup.exe）を入力します（「参照」をクリックし、フォルダから指定することもできます）。

3. インストール確認画面が表示されます。

- Print Managerを頻繁に使用される方は、「インストールしてから起動する」を選択して、パソコンにインストールすることをお奨めします。

4. ソフトウェア使用許諾契約書を確認します。

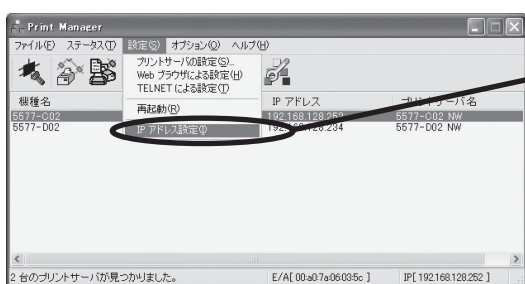
5. Print Managerが起動します。

Print Managerで本製品を検索する

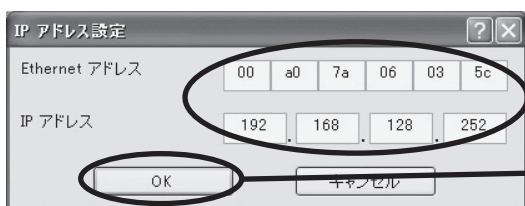
本製品の設定を行う前に、Print Managerで本製品が検索されることを確認してください。本製品が検索されない場合は、「設定」ー「IPアドレス設定」でIPアドレスの設定を行ってください。

IPアドレス設定

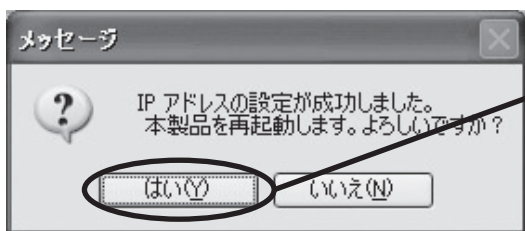
IPアドレスの設定を手動で行います。

- 本設定を行う前に、本製品のEthernetアドレスを確認してください。Ethernetアドレスは、NW初期値印刷に記載されています。（例 : 00:a0:7a:06:03:5c）

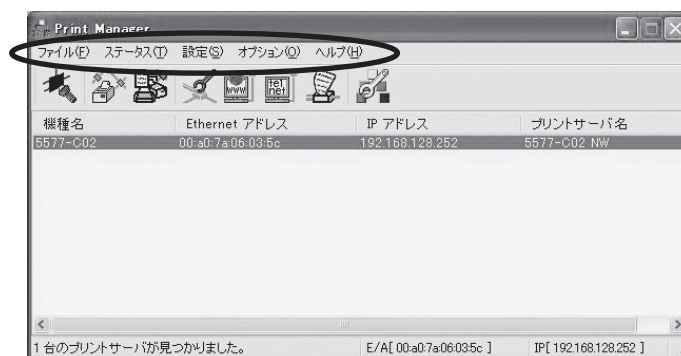
1.

Print Managerのメニューバーから「設定」ー「IPアドレス設定」を選択してIPアドレス設定ツールを起動してください。

2.

設定する製品のEthernetアドレスとIPアドレスを入力してください。

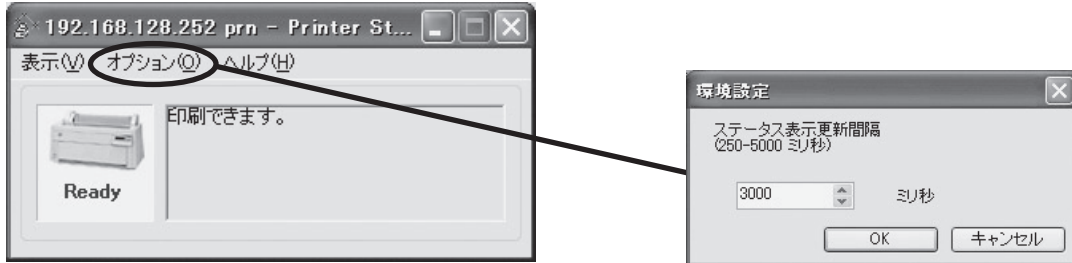
OK をクリックしてください。

3.

設定したIPアドレスを有効にするために本製品をリセットします。
「はい」をクリックしてください。

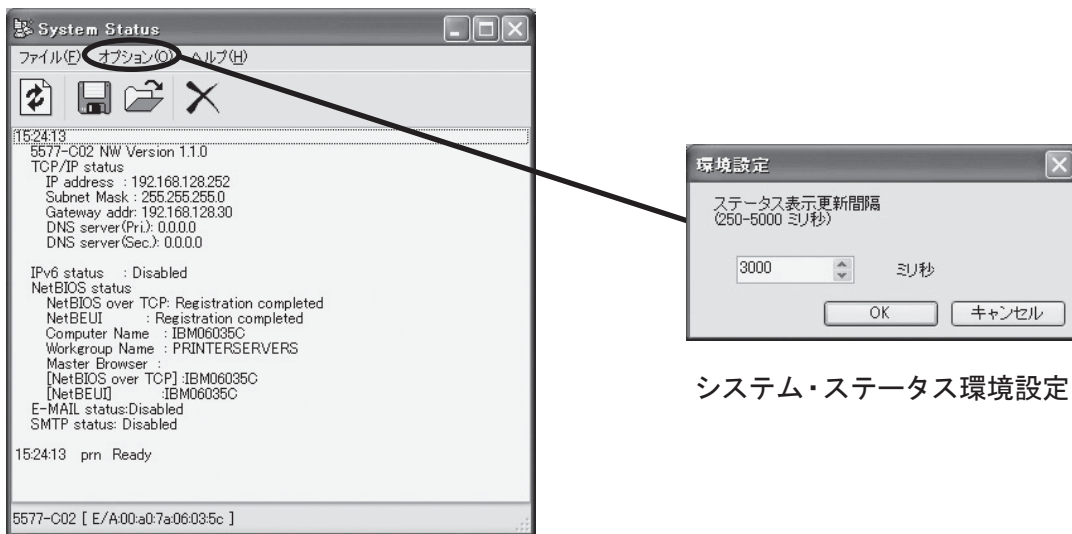
Print Managerの機能

Print Managerメニュー構成

メニュー	項目	説明
ファイル	検索	ネットワーク上の本製品を検索
	終了	Print Managerを終了
ステータス	プリンタステータス	プリンター・ステータス・モニターを表示
	システムステータス	システム・ステータス・モニターを表示
	設定項目一覧表示	本製品の内部設定情報を表示
設定	プリントサーバの設定	本製品の各種設定
	Webブラウザによる設定	本製品のホームページを起動
	TELNETによる設定	TELNETを起動
	再起動	本製品の再起動
	IPアドレス設定	IPアドレスの手動設定
オプション	環境設定	Print Managerの環境設定
ヘルプ	バージョン表示	Print Managerのバージョンを表示

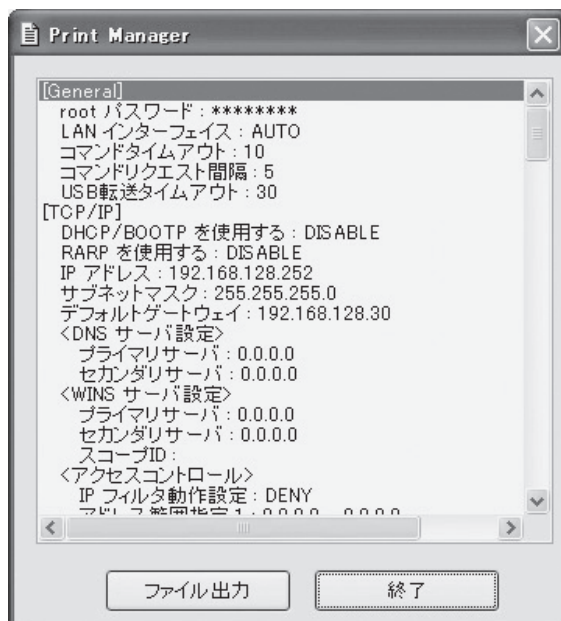
プリンター・ステータス

Print Manager画面にて選択した本製品が接続しているプリンターの状態が、リアルタイムに表示されます。また、環境設定画面にて、プリンター・ステータスの更新時間を指定することができます。

プリンター・ステータス環境設定

システム・ステータス

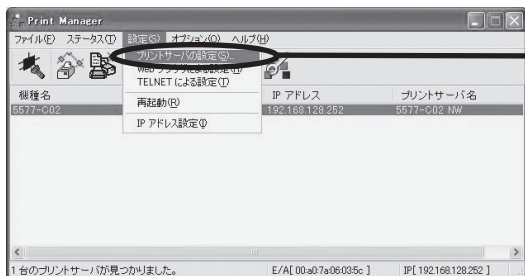
Print Manager画面にて選択した本製品の動作状態がリアルタイムに表示されます。本製品の動作状態をファイルに保存（ログの登録）し、参照することができます。また、環境設定画面にて、システム・ステータスの更新時間を指定することができます。

システム・ステータス環境設定

設定項目一覧表示

本製品に設定した各項目の設定値が一覧で表示されます。設定内容をファイル出力し、管理することができます。

Print Managerで本製品の設定を行う

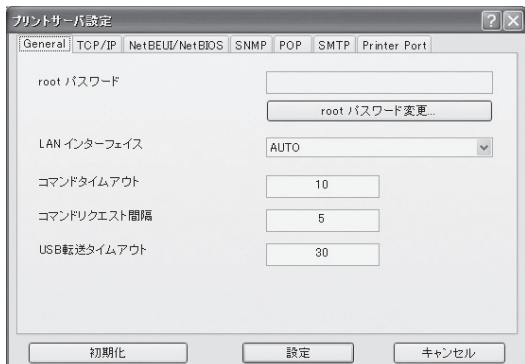
プリント・サーバーの設定

Print Managerの「設定」ー「プリントサーバの設定」で本製品の詳細設定および設定内容の変更を行います。

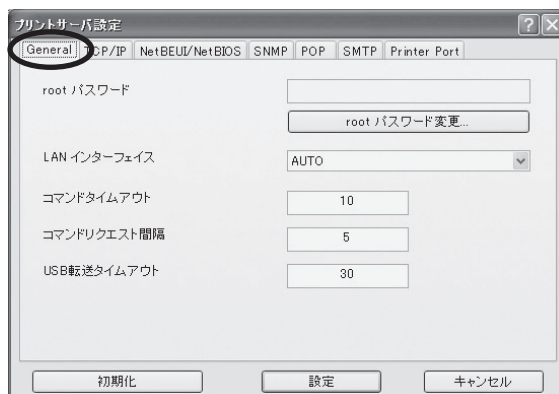
1.

設定を行う本製品を指定し、Print Managerのメニューバーから「設定」ー「プリントサーバの設定」を選択してください。

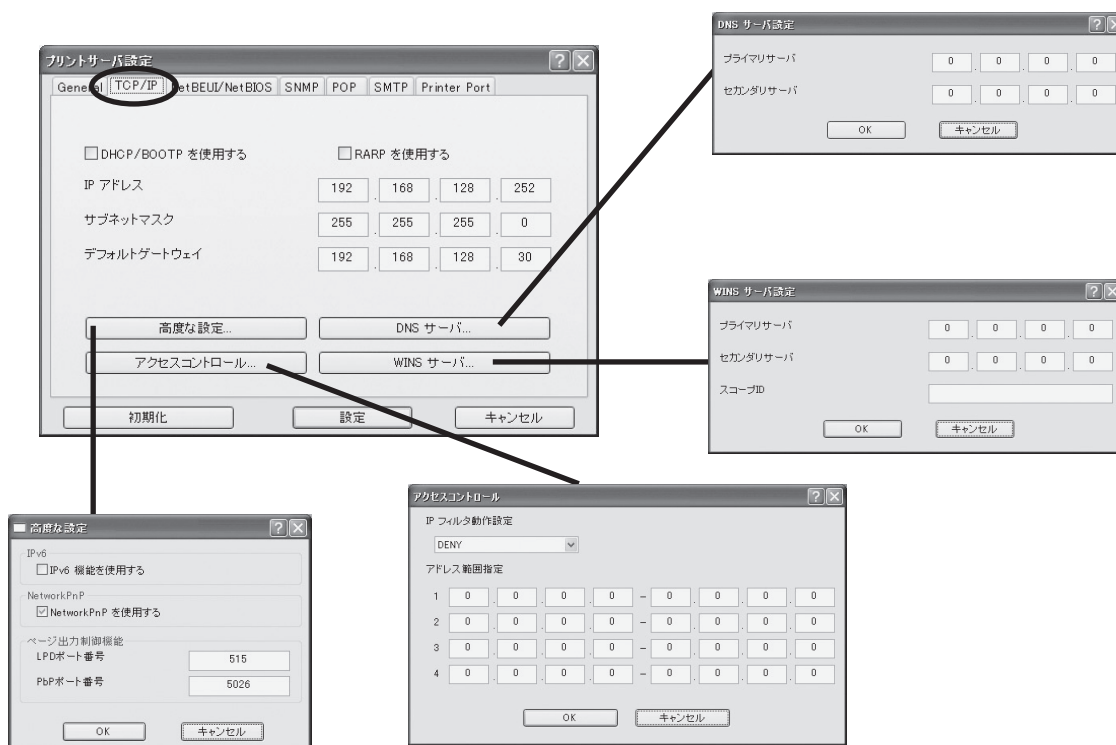
- 本製品にパスワードが設定されている場合は、「パスワード入力」画面が表示されます。
- 「Guestユーザ」チェックボックスをチェックした場合は設定情報を確認することはできますが、設定内容の変更は行えません。

パスワード入力画面

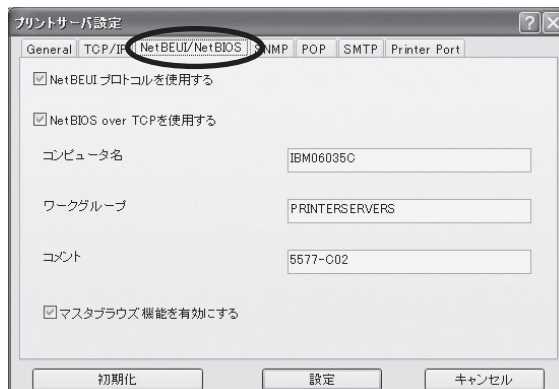
2.

左の画面が表示されます。設定を行うタブを選択します。

- 機種によっては表示されるタブが異なります。
- タブが全て表示されていない場合は、スクロールボタンで表示させてください。

Generalの設定

タブ	項目	設定内容	工場出荷設定
General	root パスワード	本製品の管理パスワードをASCII文字列（7文字以内）で設定します。このパスワードはPrint Manager、TELNET、Webで設定を行う際の認証パスワードとして使用します。	なし
	root パスワード変更	パスワードの変更を行います。	―
	LAN インターフェイス	物理ネットワークの種別を設定します。通常はAUTOで使用してください。本製品の電源投入時に本製品が接続されるHUBのLINKランプが点灯しない場合は、この設定を接続HUBのネットワーク種別に変更します。	AUTO
	コマンドタイムアウト	プリンターとの通信のタイムアウト値を秒単位で設定します（設定値 : 1 ～ 30）。	10
	コマンドリクエスト間隔	プリンターに対してMIB Objectを取得する間隔の初期値を秒単位で設定します（設定値 : 1 ～ 30）。	5
	USB 転送タイムアウト	USBでのデータ転送のタイムアウト値を秒単位で設定します（設定値 : 1 ～ 180）。	30

TCP/IPの設定

タブ	項目		設定内容	工場出荷設定
TCP/IP	DHCP/BOOTPを使用する		DHCP/BOOTPプロトコルを有効(ENABLE)にします。DHCPとBOOTPを自動認識し、先に応答のあったIPアドレスを自分のアドレスとして採用します。	ENABLE
	RARPを使用する		RARPプロトコルを有効(ENABLE)にします。	ENABLE
	IPアドレス		本製品のIPアドレスを10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
	サブネットマスク		本製品のサブネット・マスクを10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。 「0.0.0.0」は無効になり、IPアドレスに応じたサブネット・マスクが自動的に使用されます。	0.0.0.0
	デフォルトゲートウェイ		本製品のデフォルト・ゲートウェイを10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」は無効になります。	0.0.0.0
	DNSサーバ	プライマリサーバ	DNSサーバー(プライマリ)のアドレスを設定します。POP/SMTPサーバー名をIPアドレスで直接設定する場合は、設定する必要はありません。10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
		セカンダリサーバ	DNSサーバー(セカンダリ)のアドレスを設定します。POP/SMTPサーバー名をIPアドレスで直接設定する場合は、設定する必要はありません。10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0

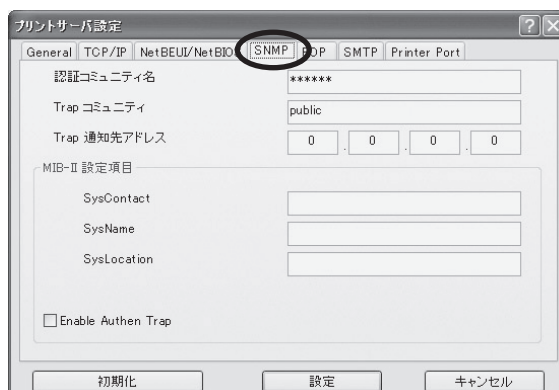
タブ	項目		設定内容	工場出荷設定
TCP/IP	WINSサーバ	プライマリサーバ	WINSサーバー(プライマリ)のアドレスを設定します。 WINSサーバーはホスト名をIPアドレスに割り当てます。これにより、TCP/IP印刷の際にIPアドレスを使用せず、ホスト名で行うことができます。設定値は、10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
		セカンダリサーバ	WINSサーバー(セカンダリ)のアドレスを設定します。 WINSサーバーはホスト名をIPアドレスに割り当てます。これにより、TCP/IP印刷の際にIPアドレスを使用せず、ホスト名で行うことができます。設定値は、10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
		スコープID	スコープIDは登録されたホスト名を認識するコンピューターのグループを定義します。	なし
	高度な設定	IPv6機能を使用する	IPv6使用有無を指定します。	DISABLE
		NetworkPnPを使用する	UPNP機能の使用有無を指定します。	ENABLE
		LPDポート番号	ページ出力制御機能の印刷データ転送に使用するLPDポート番号を設定します。	515
		PbPポート番号	ページ出力制御機能の制御データ転送に使用するPbPポート番号を設定します。	5026
	アクセスコントロール	IPフィルタ動作設定	IPフィルターの動作を設定します。設定には「ALLOW」と「DENY」があり、「ALLOW」にすると設定したIPアドレス範囲からのみデータを受けとります。「DENY」にすると設定したIPアドレス範囲からのデータを受けとりません。	DENY
		アドレス範囲指定	IPフィルターの範囲を設定します。フィルターしたいIPアドレスの範囲は4組まで設定できます。設定が不要な場合はアドレス範囲を「0.0.0.0」から「0.0.0.0」にしてください。	0.0.0.0

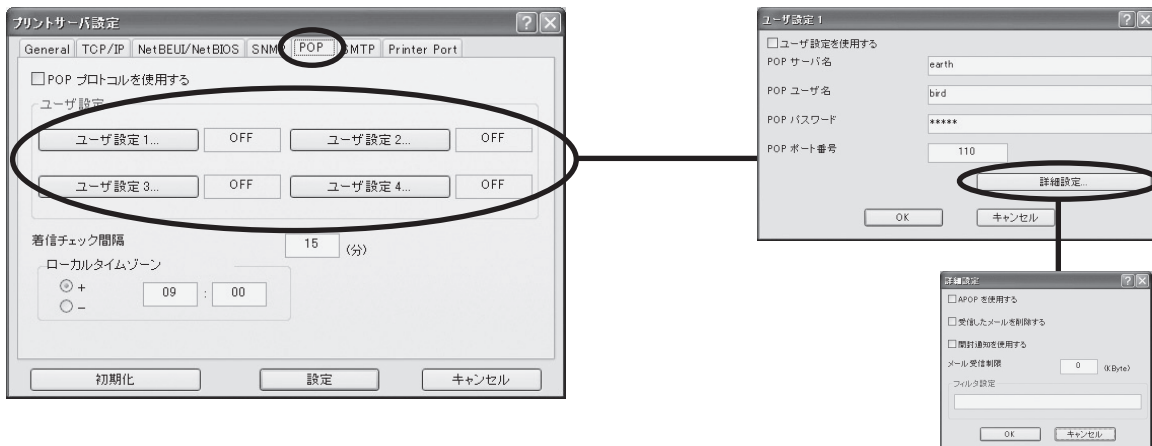
NetBEUI/NetBIOSの設定

タブ	項目	設定内容	工場出荷設定
NetBEUI/NetBIOS	NetBEUIプロトコルを使用する	NetBEUIプロトコルを有効(ENABLE)にします。	ENABLE
	NetBIOS over TCPを使用する	NetBIOS over TCPプロトコルを有効(ENABLE)にします。	ENABLE
	コンピュータ名	Windowsのエクスプローラに表示されるコンピューター名を設定します。	IBMxxxxxx (Ethernetアドレス下6桁)
	ワークグループ	本製品が所属するワークグループを設定します。 ネットワークに無い、新しいワークグループ名はワークグループとして認識されません。	PRINTERSERVERS
	コメント	本製品のコメント(説明)を設定します。 ここで設定した情報が、Windowsのエクスプローラにて本製品のコメント(説明)として表示されます。	5577-C02 (製品名)
	マスタブラウズ機能を有効にする	マスタブラウズ機能を有効(ENABLE)にします。	ENABLE

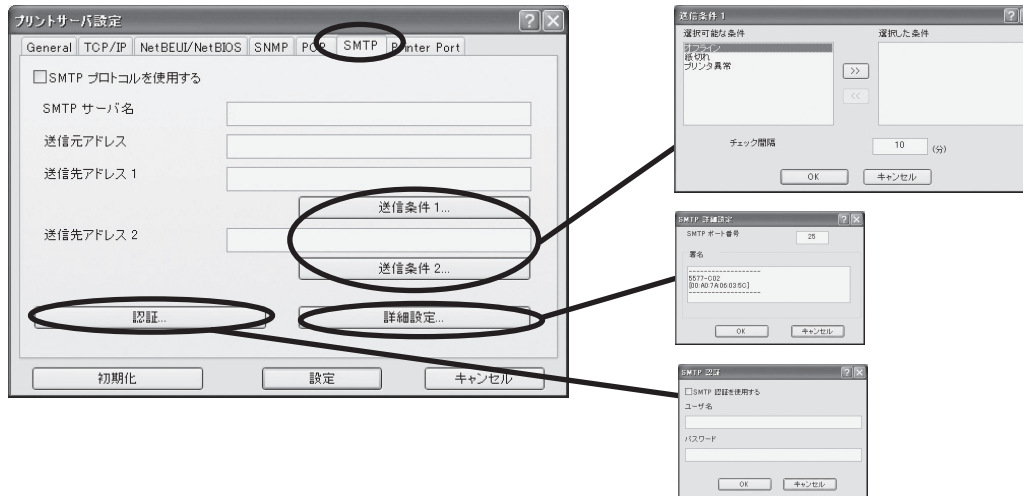
- コンピューター名およびワークグループ名には以下の文字が使用できます。それ以外の文字は使用できません。
  - アルファベット文字
  - 数字
  - ! # $ @ % & ' `) (− . ^ _ { } ~

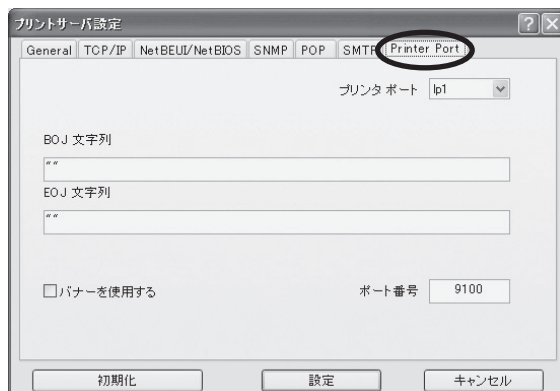
ただし、「.」だけの名前は使用できません。

上記以外の文字を設定した場合、工場出荷時設定のコンピューター名またはワークグループ名が使用されます。
また、コンピューター名とワークグループ名が同じものが設定された場合も、工場出荷時設定のコンピューター名又はワークグループ名が使用されます。

SNMPの設定

タブ	項目		設定内容	工場出荷設定
SNMP	認証コミュニティ名		SNMPの認証コミュニティ名を設定します。このコミュニティ名はSNMP Set Requestを受け付けるときに認証されます。	public
	Trapコミュニティ		SNMPのトラップコミュニティを設定します。このコミュニティ名は本製品がトラップを発行するときに使用されます。	public
	Trap通知先アドレス		SNMPトラップの送信先IPアドレスを設定します。 設定値は、10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。 「0.0.0.0」を設定するとこの項目は無効になり、いかなる場合でもトラップは発行されなくなります。	0.0.0.0
	MIB-Ⅱ設定項目	SysContact	SysContactを設定します。 通常は管理者のメールアドレスを設定します。	なし
		SysName	SysNameを設定します。 通常は本製品のホスト名またはドメイン名を設定します。	なし
		SysLocation	SysLocationを設定します。 通常は本製品のある場所を設定します。	なし
		Enable Authen Trap	Enable Authen Trapを有効(ENABLE)にします。 この設定を有効(ENABLE)にすると、SNMPでコミュニティ違反が発生した時、SNMPトラップが「Trap通知先アドレス」で設定したIPアドレスに向けて発信されます。	DISABLE

POPの設定

タブ	項目	設定内容	工場出荷設定
POP	POPプロトコルを使用する	POPプロトコルを有効(ENABLE)にします。 無効(DISABLE)にするとE-Mail受信機能が停止します。	DISABLE
	ユーザ設定(1 ～ 4)		OFF
	ユーザ設定を使用する	各ユーザーのメール受信機能を有効(Enable)にします。	ENABLE
	POPサーバ名	メール・サーバーのホスト名(またはIPアドレス)を設定します。ドメイン名を使用する場合はDNSサーバーの設定が必要です。	なし
	POPユーザ名	メールアカウントのログイン名(ユーザー名)を設定します。	なし
	POPパスワード	メール・サーバーに接続する際に使用するパスワードを設定します。	なし
	POPポート番号	POPポート番号を設定します。 通常はデフォルト値(110)で使用してください。	110
	詳細設定 APOPを使用する	APOPを有効(ENABLE)にします。APOPを利用するには、メール・サーバーがAPOPに対応している必要があります。	DISABLE
	詳細設定 受信したメールを削除する	本製品が受信・印刷したメールをメール・サーバー上から削除するかを設定します。印刷対象でない添付ファイルのあるメールは、この設定を有効(ENABLE)にしていてもメールは削除されません。	DISABLE
	詳細設定 開封通知を使用する	開封通知が指定されたメールに対して返信を行うかを設定します。開封通知メールは、SMTP設定のサーバー情報に対して送信処理を行います。	DISABLE
	詳細設定 メール受信制限	指定したサイズ以上のメールを、処理対象から除外します。処理対象から除外されたメールは、「受信したメールをサーバーから削除」の項目をチェックしている場合でも削除されません。この項目に0を設定した場合は、サイズによる制限は行わず、全てのメールを受信します。	0
	詳細設定 フィルタ設定	特定のメールのみ印刷するように設定します。ヌル(空文字列)の場合は、全てのメールが印刷の対象になります。タイトル条件(S:文字列)、宛先条件(T:文字列)、同報宛先条件(C:文字列)、送信元条件(F:文字列)の4種類のセンテンスをOR条件(|)または、AND条件(&)で接続した文字列で設定します。	なし
	着信チェック間隔(分)	メール・サーバーに着信を問い合わせる間隔を分単位で設定します。	15
	ローカルタイムゾーン	タイムゾーンを設定します。日本での使用は"+09:00"となります。	＋9:00

SMTPの設定

タブ	項目			設定内容	工場出荷設定
SMTP	SMTPプロトコルを使用する			SMTPプロトコルを有効（ENABLE）にします。 無効（DISABLE）にするとE-Mail送信機能が停止します。	DISABLE
	SMTPサーバ名			SMTPサーバーのホスト名を設定します。 ホスト名にはドメイン名またはIPアドレスを入力します。ドメイン名を使用する場合はDNSサーバーの設定が必要です。	なし
	送信元アドレス			送信元のアドレスを設定します。 通常はネットワーク管理者のメールアドレスを設定します。	なし
	送信先アドレス（1 ～ 2）			送信先のメールアドレスを設定します。	なし
	送信条件（1～2）	選択条件	オフライン	プリンターがオフラインになったときメールを送信します。	OFF
			紙切れ	プリンターの用紙がなくなったときメールを送信します。	OFF
			プリンタ異常	プリンターに異常が発生したときメールを送信します。	OFF
		チェック間隔		イベントの記録があるかを一定間隔（分単位）でチェックします。この間隔内に1つ以上のイベントが発生した場合、その記録をまとめて送信します。	10
	詳細設定	SMTPポート番号		SMTPポート番号を設定します。 通常はデフォルト値 (25) で使用してください。	25
		署名		メールの送信メッセージの文末に付加する文字列の内容を設定します。	--------------- 5577-C02 [00:A0:7A:XX:XX:XX] --------------- （製品名とEthernetアドレス下6桁）
	認証	SMTP認証を使用する		SMTP認証の使用有無を指定します。	DISABLE
		ユーザ名		SMTP認証名を指定します。	なし
		パスワード		SMTP認証パスワードを指定します。	なし

Printer Portの設定

タブ	項目	設定内容	工場出荷設定
Printer Port	プリンタ ポート	各プリンター・ポートを設定します(lp1 ～ lp6)。	
	BOJ文字列	直接出力ポート(lpポート)に出力する前に、プリンターに送出する文字列(最大63文字)を設定します。印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。	なし
	EOJ文字列	直接出力ポート(lpポート)に出力した後に、プリンターに送出する文字列(最大63文字)を設定します。印刷後に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。	なし
	バナーを使用する	LPR、FTP、Raw Portで印刷する場合にバナーページを出力するか設定します。	NO
	ポート番号	Rawモード印刷にて、各印刷ポートが使用するネットワークのポート番号を設定します(設定値 : 1025 ～ 65535)。	lp1 : 9100 lp2 : 9101 : : lp6 : 9105

例)

BOJ文字列およびEOJ文字列の入力例 :

用紙モード切り替えによる単票モード指定において、16進コード「X'1B 7E 10 00 01 02'」を設定する場合は、

"¥x1B¥x7E¥x10¥x00¥x01¥x02"

と入力します。

- 16進コードに文字コードが割り当てられている場合、文字列設定後にウィンドウを再表示させると、該当する文字に置き換えられて表示されます。

例 :

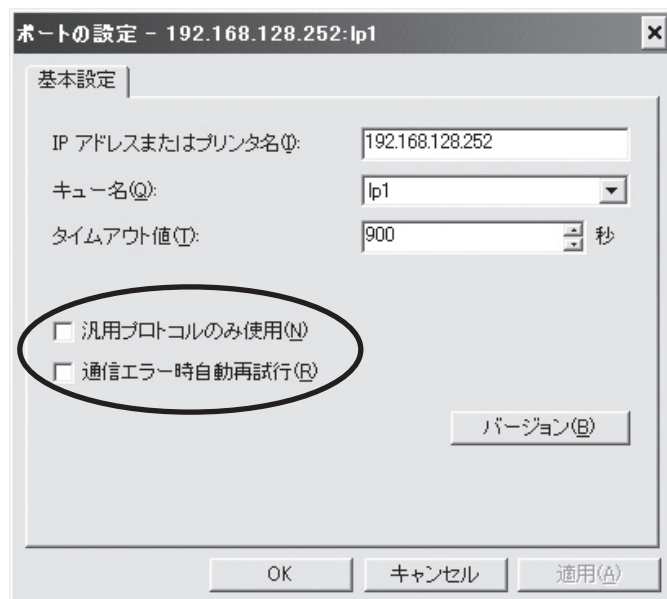
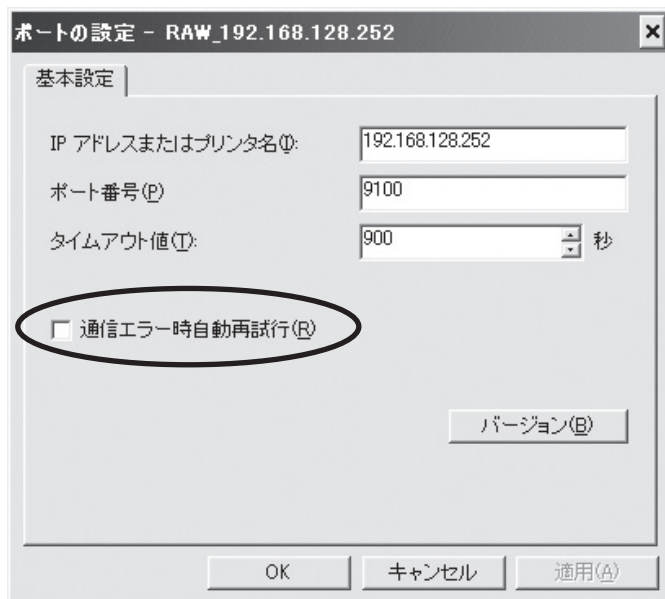
¥x25 ⇒ " % "
¥x31 ⇒ " 1 "
¥x7E ⇒ " ~ "

LPR Remote Printのポート設定（LPR、RAW）

LPR Remote Printを使用する際、ネットワーク環境やプリンターの状態によって、正常に接続できない、あるいは印刷が行えない場合があります。
LPR Remote Printでは、その場合の動作を以下の設定機能により選択することができます。

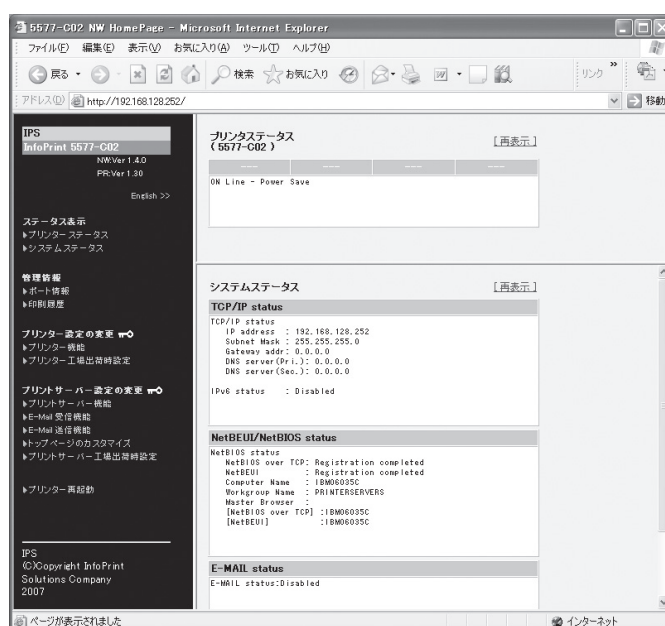
LPR Remote Printをインストール後、プリンター・ドライバーのプロパティを開き、「ポート」タブを開くと以下の画面になりますので、「ポートの構成」をクリックしてください。

LPRとRAWによって、画面構成が異なります。

LPRの場合

RAWの場合

項目	設定内容	工場出荷設定
汎用プロトコルのみ使用	接続の最初に行う特殊プロトコルによる機器判別を省略します(LPRのみ)。	DISABLE
通信エラー時自動再試行	これをチェックすることにより、通信上の障害で送信ができない場合に表示されるポップアップ画面が、通信可能となった時点で自動的に消去され、印刷が再開されます。	DISABLE

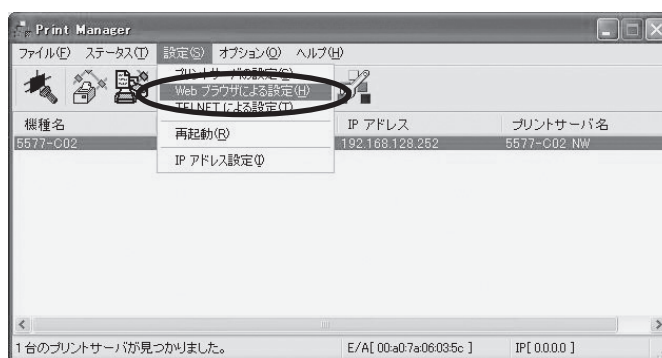
Webブラウザで設定する

本製品はHTTPプロトコルを搭載していますので、Webブラウザを利用して本製品の詳細な設定および設定内容の変更を行うことができます。また、リモートでの再起動やNW初期値印刷、プリンター・ステータス・モニターなどの便利な機能を利用することができます。

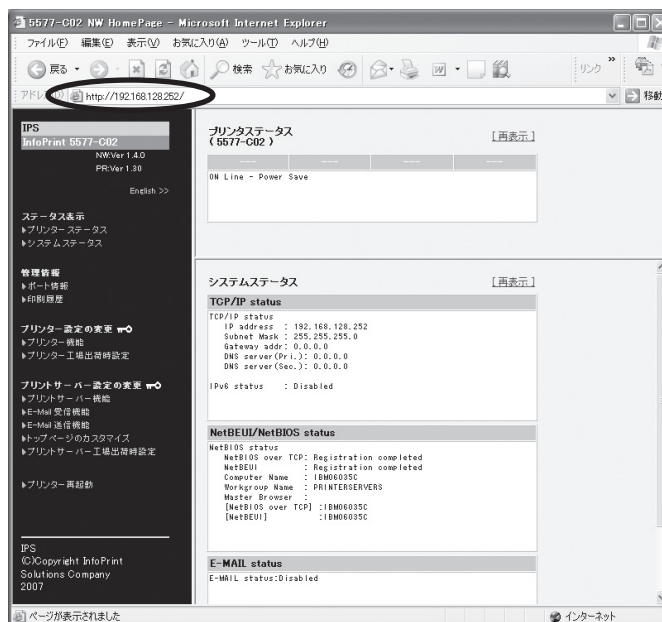
- Webブラウザを利用する場合、本製品のTCP/IPプロトコル設定が有効であり、IPアドレスが設定されている必要があります。
- Webブラウザは、Netscape Navigator 4.7以降およびInternet Explorer 4.0以降のバージョンを推奨します。また、ご利用になるWebブラウザによって多少表示が異なる場合があります。
- プリンターの機種によっては、Webブラウザに表示される内容が異なります。

本製品のWebページを表示する

設定を行う本製品のWebページを表示します。表示方法は2つあります。

Print ManagerからWebページを表示する

Print Managerの一覧表示の中から、設定を行う本製品を選択し、メニューの「設定」ー「Webブラウザによる設定」をクリックします。

WebブラウザからWebページを表示する

本製品に設定されたIPアドレスをWebブラウザに入力します。

例） http://192.168.128.252

本製品Webページメニュー構成

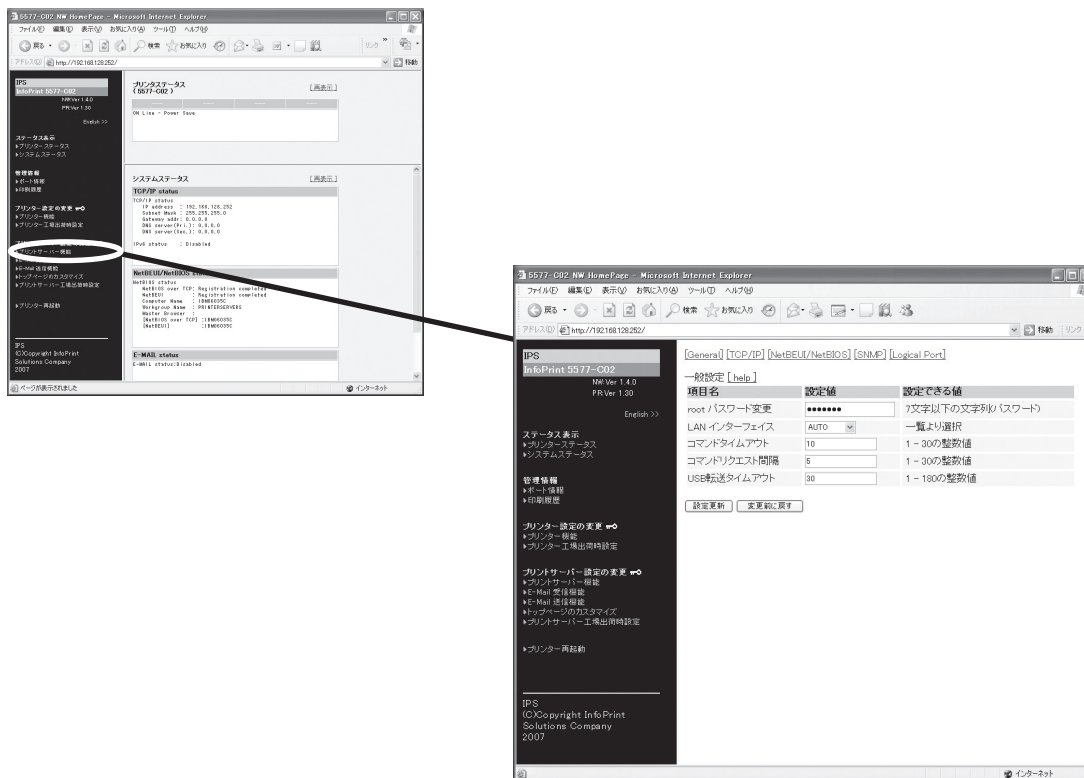
Webページで設定できる項目は以下の通りです。

項目		説明
ステータス表示	プリンタステータス	プリンター・ステータスを表示
	システムステータス	システム・ステータスを表示
管理情報	ポート情報	ポート情報を表示
	印刷履歴	印刷ジョブログを表示
プリンター設定の変更	プリンター機能	プリンター機能の各種設定
	プリンター工場出荷時設定	プリンターの工場出荷時の値を設定
プリントサーバー設定の変更	プリントサーバー機能	ネットワーク・インターフェースの各種設定
	E-Mail 受信機能	E-Mail 受信機能の設定
	E-Mail 送信機能	E-Mail 送信機能の設定
	トップページのカスタマイズ	本製品の Web ページの表示設定
	プリントサーバー工場出荷時設定	通信インターフェースの工場出荷時設定実行
プリンター再起動		プリンター再起動の実行

本製品のWebページから設定する

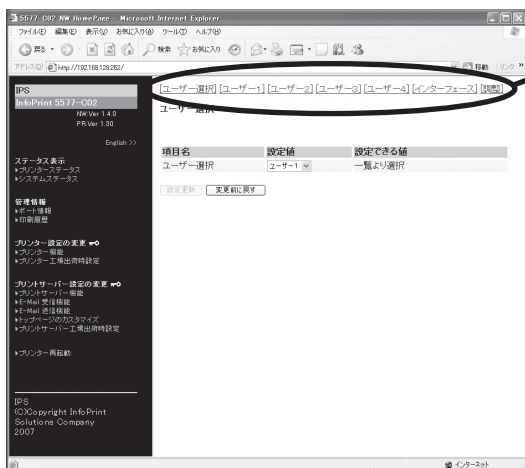
- Webブラウザを起動後初めてメニューをクリックすると、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。
  ユーザー名 : root
  パスワード : （環境設定で設定したパスワード）
  を各自入力して、「OK」をクリックしてください。
  パスワードを設定していない場合は、パスワード欄は未入力のまま「OK」をクリックしてください。

Webブラウザからプリントサーバー機能を設定する

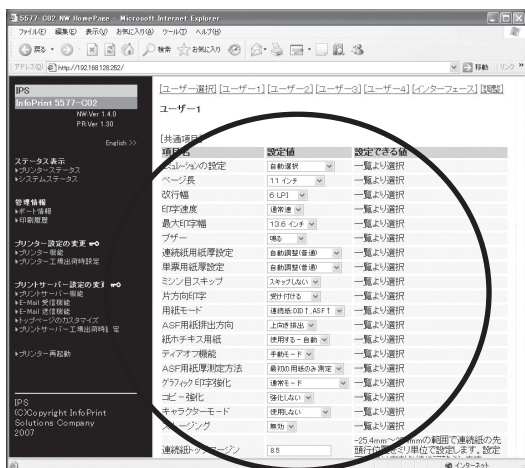
Webブラウザに表示されている設定項目から設定したい項目をクリックすると、設定Web画面が表示されます。必要な項目に設定値を入力してください。
設定項目に関する詳細は、本章「Webブラウザ/TELNET設定項目」を参照してください。

Webブラウザからプリンター機能を設定する

プリンターの操作パネルで設定される各初期設定値を、Webブラウザ画面の「プリンター機能」メニューから設定できます。

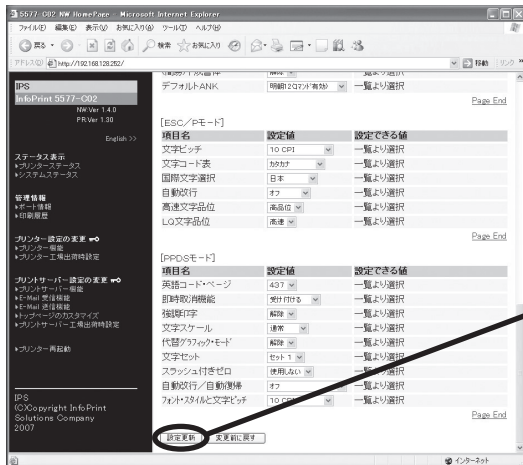
- Webブラウザ上で設定変更を行う場合には、プリンターが印刷中、エラー発生中、もしくは操作パネルでの初期値設定中でないことを確認してください。

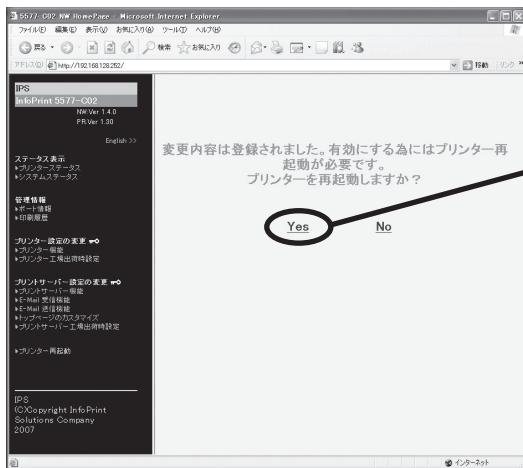
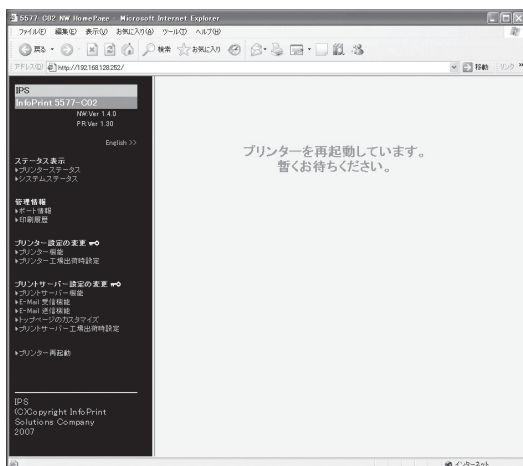
1. Webブラウザ左の「プリンター機能」メニューをクリックします。

「ユーザー選択」～「調整」までのいずれかをクリックします。

- 「ユーザー選択」／「ユーザー1」～「ユーザー4」
  操作パネル上の「2　ショキチ　セッテイ」に対応しています。
- 「インターフェース」
  操作パネル上の「5　インターフェース　セッテイ」に対応しています。
- 「調整」
  操作パネル上の「3　チョウセイ」に対応しています。

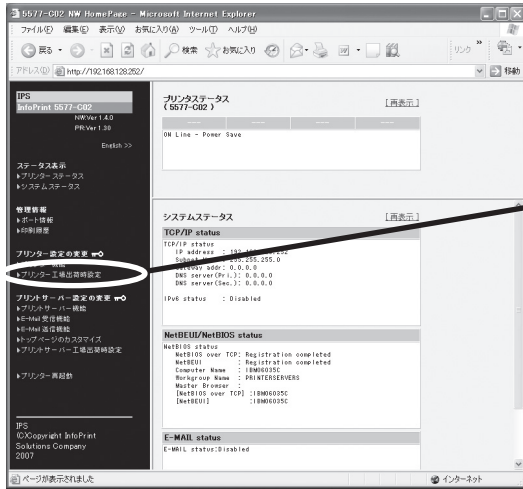
例）「ユーザー1」を選択した場合
　以下のような画面が表示されます。

- 項目名
  設定項目を一覧表示します。
- 設定値
  現在の設定値です。　この欄をプルダウンメニュー、あるいは直接入力で変更します。
- 設定できる値
  設定できる値および値の範囲を解説しています。「一覧より選択」は、プルダウンメニューで設定値を選択します。

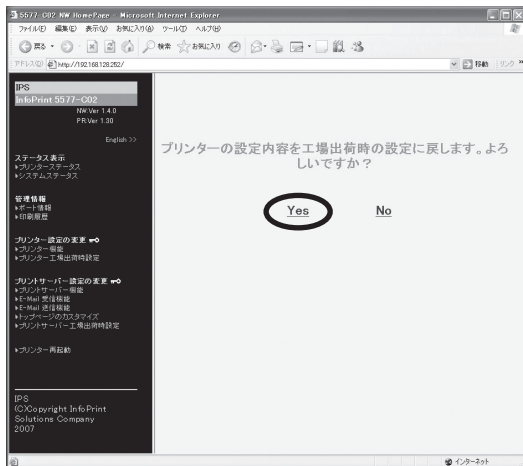
設定項目に関する詳細は、設置・操作ガイド　第4章「初期設定値／調整値の変更手順」および第5章「インターフェースの設定」を参照してください。

2.

各設定値を変更後、ページ下端にある「設定更新」を押します。
設定値が登録されます。

3. 登録後、プリンターを再起動させることにより、設定値がプリンターに書き込まれます。

4. 再起動の実行中は、次の画面に切り替わります。
プリンターが再起動した後、画面が移らない場合は、再読み込みしてください。

プリンター設定値を工場出荷値に戻す

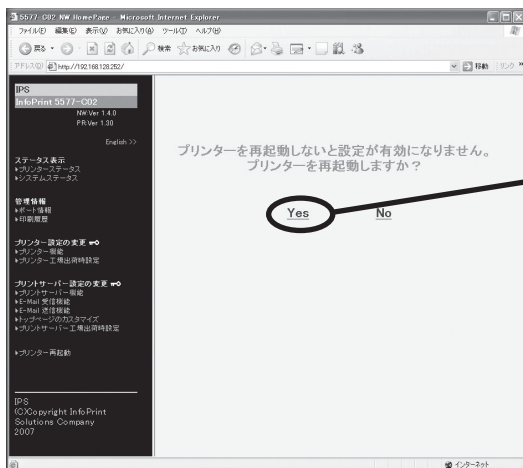
プリンターの初期設定値を工場出荷時の値に戻します。

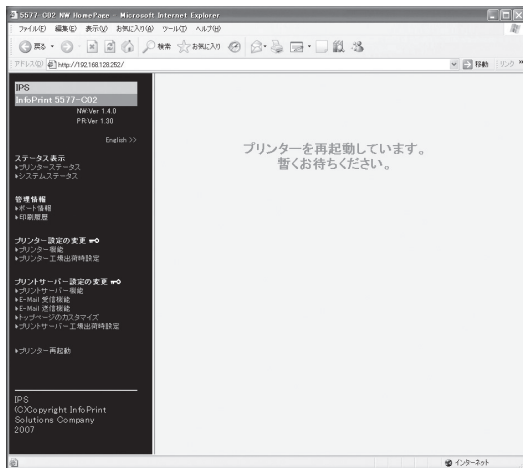
1.

「プリンター工場出荷時設定」をクリックしてください。

2. 確認の画面が表示されますので、「Yes」をクリックします。

- 本機能を実行すると、登録されている初期設定値が全て工場出荷時の値に初期化されます。事前に初期値印刷を実行して、元の値を参照できるよう保管してください。初期値印刷については、設置・操作ガイド　第4章「初期設定値／調整値の変更手順」を参照してください。

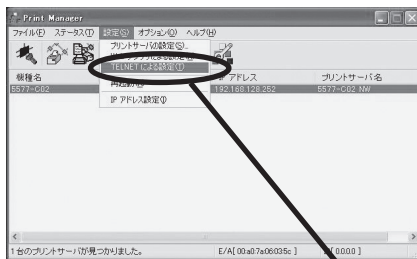
3.

プリンターを再起動しないと設定が有効になりません。
プリンターを再起動しますか？

Yes　No

「Yes」をクリックしてください。

4. プリンターの再起動が実行されます。
プリンターが再起動した後、画面が戻らない場合は、ブラウザの再読み込みを実行してください。

TELNETで設定する

本製品はTELNETプロトコルを搭載していますので、UNIXマシンまたは、パソコンのTCP/IPソフトに付属のTELNETを利用して本製品の詳細な設定および設定内容の変更を行うことができます。

- TELNETを利用する場合は、IPアドレスが設定されている必要があります。
- TELNETで設定を行うにはrootユーザーでログインする必要があります。
- 機種によっては、利用できる機能が異なります。

Webブラウザ/TELNET設定項目

プリント・サーバー機能

General

項目			設定内容	工場出荷設定
	Webブラウザ	TELNET		
General	一般設定/Configure General			
	rootパスワード変更	Change Root Password	本製品の管理パスワードをASCII文字列(7文字以内)で設定します。 このパスワードはPrint Manager、TELNET、Webで設定を行う際の認証パスワードとして使用します。	なし
	LANインターフェイス	LAN Interface	物理ネットワークの種別を設定します。 通常はAUTOで使用してください。本製品の電源投入時に本製品が接続されるHUBのLINKランプが点灯しない場合は、この設定を接続HUBのネットワーク種別に変更します。	AUTO
	コマンドタイムアウト	Command Reply Timeout	プリンターとの通信のタイムアウト値を秒単位で設定します(設定値:1 ~ 30)。	10
	コマンドリクエスト間隔	Command Request Interval	プリンターに対してMIB Objectを取得する間隔の初期値を秒単位で設定します(設定値:1 ~ 30)。	5
	USB転送タイムアウト	USB Transfer Timeout	USBでのデータ転送のタイムアウト値を秒単位で設定します(設定値:1 ~ 180)。	30

TCP/IP

	項目		設定内容	工場出荷設定
	Webブラウザ	TELNET		
TCP/IP	TCP/IP設定/Configure TCP/IP			
	DHCP/BOOTP	DHCP/BOOTP	DHCP/BOOTPプロトコルを有効(ENABLE)にします。DHCPとBOOTPを自動認識し、先に応答のあったIPアドレスを自分のアドレスとして採用します。	DISABLE
	RARP	RARP	RARPプロトコルを有効(ENABLE)にします。	DISABLE
	IPアドレス	IP Address	本製品のIPアドレスを10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
	サブネットマスク	Subnet Mask	本製品のサブネット・マスクを10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」は無効になり、IPアドレスに応じたサブネット・マスクが自動的に使用されます。	0.0.0.0
	デフォルトゲートウェイ	Default Gateway	本製品のデフォルト・ゲートウェイを10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」は無効になります。	0.0.0.0
	IPv6機能	IPv6 Function	IPv6の使用有無を指定します。	DISABLE
	NetworkPnP機能	NetworkPnP Enable	UPNP機能の使用有無を指定します。	ENABLE

NetBEUI/NetBIOS

	項目		設定内容	工場出荷設定
	Webブラウザ	TELNET		
TCP/IP	DNS設定 / DNS			
	プライマリサーバ	Primary Server	DNSサーバー(プライマリ)のアドレスを設定します。POP/SMTPサーバー名をIPアドレスで直接設定する場合は、設定する必要はありません。10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
	セカンダリサーバ	Secondary Server	DNSサーバー(セカンダリ)のアドレスを設定します。POP/SMTPサーバー名をIPアドレスで直接設定する場合は、設定する必要はありません。10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
	WINS設定 / WINS			
	プライマリサーバ	Primary Server	WINSサーバー(プライマリ)のアドレスを設定します。WINSサーバーはホスト名をIPアドレスに割り当てます。これにより、TCP/IP印刷の際にIPアドレスを使用せず、ホスト名で行うことができます。設定値は、10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
	セカンダリサーバ	Secondary Server	WINSサーバー(セカンダリ)のアドレスを設定します。WINSサーバーはホスト名をIPアドレスに割り当てます。これにより、TCP/IP印刷の際にIPアドレスを使用せず、ホスト名で行うことができます。設定値は、10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
	スコープID	Scope ID	スコープIDは登録されたホスト名を認識するコンピューターのグループを定義します。	なし
	IP Filter設定 / IP Filter Config			
	動作モード	Filter Mode	IPフィルターの動作を設定します。 設定には「ALLOW」と「DENY」があり、「ALLOW」にすると設定したIPアドレス範囲からのみデータを受けとります。「DENY」にすると設定したIPアドレス範囲からのデータを受けとりません。	DENY
	フィルタ #0-3 開始/終了アドレス	Filter #0-3 start/end address	IPフィルターの範囲を設定します。 フィルターしたいIPアドレスの範囲は4組まで設定できます。設定が不要な場合はアドレス範囲を「0.0.0.0」から「0.0.0.0」にしてください。	0.0.0.0
	ページ出力制御機能設定 / PbP Printing Config			
	LPDポート番号	LPD Port Number	ページ出力制御機能の印刷データ転送に使用するLPDポート番号を設定します。	515
	PbPポート番号	PbP Port Number	ページ出力制御機能の制御データ転送に使用するPbPポート番号を設定します。	5026

項目			設定内容	工場出荷設定
	Webブラウザ	TELNET		
NetBEUI/NetBIOS	NetBEUI/NetBIOS設定 / Configure NetBEUI/NetBIOS			
	NetBEUIプロトコル	NetBEUI Protocol	NetBEUI プロトコルを有効(ENABLE)にします。	ENABLE
	NetBIOS over TCP	NetBIOS over TCP Protocol	NetBIOS over TCPプロトコルを有効(ENABLE)にします。	ENABLE
	コンピュータ名	Computer Name	Windowsのエクスプローラに表示されるコンピューター名を設定します。	IBMxxxxxx (Ethernetアドレス下6桁)
	ワークグループ	Workgroup	本製品が所属するワークグループを設定します。 ネットワークに無い、新しいワークグループ名はワークグループとして認識されません。	PRINTERSERVERS
	コメント	Comment	本製品のコメント(説明)を設定します。 ここで設定した情報が、Windowsのエクスプローラにて本製品のコメント(説明)として表示されます。	5577-C02 (製品名)
	マスタブラウズ機能	Master Browse	マスタブラウズ機能を有効(ENABLE)にします。	ENABLE

- コンピューター名およびワークグループ名には以下の文字が使用できます。それ以外の文字は使用できません。

  - アルファベット文字
  - 数字
  - ! # $ @ % & ' `) (- . ^ _ { } ~

ただし、「.」だけの名前は使用できません。

上記以外の文字を設定した場合、工場出荷時設定のコンピューター名又はワークグループ名が使用されます。
また、コンピューター名とワークグループ名が同じものが設定された場合も、工場出荷時設定のコンピューター名又はワークグループ名が使用されます。

SNMP

	項目		設定内容	工場出荷設定
	Webブラウザ	TELNET		
SNMP	SNMP 設定 / Configure SNMP			
	認証コミュニティ名	Authentic Community	SNMP の認証コミュニティ名を設定します。 このコミュニティ名はSNMP Set Requestを受け付けるときに認証されます。	public
	Trapコミュニティ名	Trap Community	SNMP のトラップコミュニティを設定します。 このコミュニティ名は本製品がトラップを発行するときに使用されます。	public
	Trap 通知先アドレス	Trap Address (IP)	SNMPトラップの送信先 IP アドレスを設定します。 設定値は、10 進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」を設定するとこの項目は無効になり、いかなる場合でもトラップは発行されなくなります。	0.0.0.0
	SysContact	SysContact	SysContactを設定します。 通常は管理者のメールアドレスを設定します。	なし
	SysName	SysName	SysNameを設定します。 通常は本製品のホスト名またはドメイン名を設定します。	なし
	SysLocation	SysLocation	SysLocationを設定します。 通常は本製品のある場所を設定します。	なし
	EnableAuthen Trap	EnableAuthen Trap	Enable Authen Trapを許可(1)/禁止(2)で設定します。 この設定を許可(1)にすると、SNMP でコミュニティ違反が発生した時、SNMPトラップが「Trap 通知先アドレス」で設定したIP アドレスに向けて発信されます。	2

Logical Port

項目			設定内容	工場出荷設定
	Webブラウザ	TELNET		
Logical Port	論理ポート設定1 ～ 6			
	BOJ文字列	BOJ String	直接出力ポート(lpポート)に出力する前に、プリンターに送出する文字列(最大63文字)を設定します。印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。	なし
	EOJ文字列	EOJ String	直接出力ポート(lpポート)に出力した後に、プリンターに送出する文字列(最大63文字)を設定します。印刷後に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。	なし
	TCP/IP Raw モード番号	TCP/IP Raw Mode Port Number	Rawモード印刷にて、各印刷ポートが使用するネットワークのポート番号を設定します(設定値:1025 ～ 65535)。	port1: 9100 port2: 9101 : : port6: 9105
	バナーを使用する	Use Banner	LPR、FTP、Raw Portで印刷する場合にバナーページを出力するか設定します(設定値:YES/NO)。	NO

例)

BOJ文字列およびEOJ文字列の入力例:

用紙モード切り替えによる単票モード指定において、16進コード「X'1B 7E 10 00 01 02'」を設定する場合は、

¥x1B¥x7E¥x10¥x00¥x01¥x02

と入力します。

・ 16進コードに文字コードが割り当てられている場合、文字列設定後にウィンドウを再表示させると、該当する文字に置き換えられて表示されます。

例:

¥x25 ⇒ " % "
¥x31 ⇒ " 1 "
¥x7E ⇒ " ~ "

E-Mail受信（POP）

<table>
<tr><th colspan="4">項目</th><th rowspan="2">設定内容</th><th rowspan="2">工場出荷設定</th></tr>
<tr><th></th><th></th><th>Webブラウザ</th><th>TELNET</th></tr>
<tr><td rowspan="14">E-Mail受信(POP)</td><td rowspan="3">基本設定</td><td>POPプロトコル</td><td>POP Protocol</td><td>POPプロトコルを有効（ENABLE）にします。</td><td>DISABLE</td></tr>
<tr><td>着信チェック間隔（分）</td><td>Check Interval (min.)</td><td>メール・サーバーに着信を問い合わせる間隔を分単位で設定します。</td><td>15</td></tr>
<tr><td>ローカルタイムゾーン</td><td>Local Time Zone</td><td>タイムゾーンを設定します。
日本での使用は"＋09:00"となります。</td><td>＋9:00</td></tr>
<tr><td colspan="2">このユーザ設定を使用する(1 〜 4)</td><td>User Profile（1 〜 4）</td><td>各ユーザーのメール受信機能を有効（ENABLE）にします。</td><td>DISABLE</td></tr>
<tr><td rowspan="10"></td><td>POP
サーバ名</td><td>POP Server Name</td><td>メール・サーバーのホスト名(またはIPアドレス)を設定します。ドメイン名を使用する場合はDNSサーバーの設定が必要です。</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>POP
ポート番号</td><td>POP Port Number</td><td>POPポート番号を設定します。
通常はデフォルト値（110）で使用してください。</td><td>110</td></tr>
<tr><td>POP
ユーザ名</td><td>POP User Name</td><td>メールアカウントのログイン名（ユーザー名）を設定します。</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>POP
パスワード</td><td>POP Password</td><td>メール・サーバーに接続する際に使用するパスワードを設定します。</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>APOPを
使用する</td><td>Use APOP</td><td>APOPを有効（ENABLE）にします。
APOPを利用するには、メール・サーバーがAPOPに対応している必要があります。</td><td>NO</td></tr>
<tr><td>受信したメールを削除する</td><td>Delete Mail after Retrieve</td><td>本製品が受信・印刷したメールをメール・サーバー上から削除するかを設定します。
印刷対象でない添付ファイルのあるメールは、この設定を有効（ENABLE）にしていてもメールは削除されません。</td><td>NO</td></tr>
<tr><td>メール受信制限(KByte)</td><td>Maximum Retrieve (KByte)</td><td>指定したサイズ以上のメールを、処理対象から除外します。
処理対象から除外されたメールは、「受信したメールを削除する」の項目をチェックしている場合でも削除されません。この項目に0を設定した場合は、サイズによる制限は行わず、全てのメールを受信します。</td><td>0</td></tr>
<tr><td>フィルタ設定</td><td>Filter Setting</td><td>特定のメールのみ印刷するように設定します。ヌル（空文字列）の場合は、全てのメールが印刷の対象になります。タイトル条件（S:文字列）、宛先条件（T:文字列）、同報宛先条件（C:文字列）、送信元条件（F:文字列）の4種類のセンテンスをOR条件（|）または、AND条件（&）で接続した文字列で設定します。</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>開封通知</td><td>Request a read receipt</td><td>開封通知が指定されたメールに対して返信を行うかを設定します。
開封通知メールは、SMTP設定のサーバー情報に対して送信処理を行います。</td><td>NO</td></tr>
</table>

E-Mail送信（SMTP）

項目				設定内容	工場出荷設定
	Webブラウザ		TELNET		
E-Mail送信(SMTP)	SMTPプロトコルを使用する		SMTP Protocol	SMTPプロトコルを有効（ENABLE）にします。 無効にするとE-Mail送信機能が停止します。	DISABLE
	SMTPサーバ名		SMTP Server Name	SMTPサーバーのホスト名を設定します。 ホスト名にはドメイン名またはIPアドレスを入力します。 ドメイン名を使用する場合はDNSサーバーの設定が必要です。	なし
	SMTPポート番号		SMTP Port Number	SMTPポート番号を設定します。 通常はデフォルト値（25）で使用してください。	25
	送信元アドレス		From Address	送信元のアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを設定します。	なし
	署名（1 ～ 4行目）		Signature Line (1 ～ 4)	メールの送信メッセージの文末に付加する文字列の内容を設定します。	――――――――― 5577-C02 [00:A0:7A:XX:XX:XX] ――――――――― （製品名とEthernetアドレス下6桁）
	送信アドレス（1 ～ 2）		Event to Address(1 ～ 2)	送信アドレス（1 ～ 2）の送信条件を設定します。	―
		送信先アドレス（1 ～ 2）	To Address (1 ～ 2)	送信先のメールアドレスを設定します。	なし
		チェック間隔（分）	Check Interval (min.)	イベントの記録があるかを一定間隔（分単位）でチェックします。 この間隔内に1つ以上のイベントが発生した場合、その記録をまとめて送信します。	10
		オフライン	Offline	プリンターがオフラインになったときメールを送信します。	OFF
		紙切れ	Paper Empty	プリンターの用紙がなくなったときメールを送信します。	OFF
		プリンタ異常	Fault	プリンターに異常が発生したときメールを送信します。	OFF
	SMTP認証設定	SMTP認証	SMTP AUTH Enable	SMTP認証の使用有無を指定します。	DISABLE
		SMTP認証名	SMTP AUTH Name	SMTP認証名を指定します。	なし
		SMTP認証パスワード	SMTP AUTH Password	SMTP認証パスワードを指定します。	なし